

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
薬学概論	企業や行政機関での実務経験を踏まえて講義を行っている。	岡田 信彦	岡田 信彦 伊藤 智夫 藤井 秀明 供田 洋 厚田幸一郎 ※ 吉山 友二 ※ 成川 衛 ※ 小林 昌宏 ※ 氏原 淳 ※ 樋口 淳 ※ 五十嵐 真希 ※ 名古屋 茜 ※ 神奈川県庁 ※	1	前期	1 単位	必修
薬用植物学	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、薬用植物の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 古平 栄一 ※ 石川 寛	1	前期	1 単位	必修
薬と仕事 I	医療現場で得た知識と経験を踏まえて授業を行っている。	厚田幸一郎	厚田幸一郎 ※ 松原 肇 ※ 尾鳥 勝也 ※ 吉山 友二 ※ 平山 武司 ※ 久保田理恵 ※ 小林 昌宏 ※ 毛利 順一 ※ 井上 岳 ※ 渋谷 清 ※ 田中 庸一 ※ 川上 美好 ※ 有海 秀人 ※ 岩澤真紀子 ※ 向井 潤一 ※ 春日井 公美 ※ 堀井 剛史 ※ 東山 倫子 ※ 川野 千尋 ※ 飛田 夕紀 ※ 井口 智恵 ※ 伊藤 千裕 ※ 青木 学一 ※ 塩見 めぐみ ※ 安藤 航 ※ 園部 堯仁 ※ 山田 路子 ※ 吉野 裕梨佳 ※ 友田 吉則 ※	1	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
解剖学	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	門谷 裕一	門谷 裕一 田口 明子 ※ 木村 武俊	1	後期	1 単位	必修
チーム医療論	医療現場で得た知識と経験を踏まえて授業を行っている。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 厚田幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 五味 勉 ※ 松永 篤彦 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 齋藤 有紀子 渡邊 達也 ※ 岩村 正嗣 ※ 渡邊 昌彦 ※ 宮岡 等 ※ 坂東 由紀 ※ 伊勢田 明子 ※ 油谷 和子 ※	1	後期	1 単位	必修
分析科学 I	企業での医薬品分析や国立研究所での日本薬局方試験法原案作成の経験を授業へ活用する。	加藤くみ子	加藤くみ子 ※ 片根 真澄 古地 壯光	2	前期	1 単位	必修
生薬学 I	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、生薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 白畑 辰弥	2	前期	1 単位	必修
病理学	実際の臨床での経験も踏まえて講義を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※ 岡田 信彦 友廣 彩夏 ※ 鈴木 順子	2	前期	1 単位	必修
薬と仕事 II	・医療現場で得た知識と経験を踏まえて授業を行っている。 ・薬害被害体験を踏まえた授業を行っている。	平山 武司	平山 武司 ※ 吉山 友二 ※ 川野 千尋 ※ 飛田 夕紀 ※ 鳥井 晋三 ※ 土屋 志保 ※ 間宮 清 ※	2	前期	1 単位	必修
定量分析実習	企業での医薬品分析や国立研究所での日本薬局方試験法原案作成の経験を授業へ活用する。	加藤くみ子	加藤くみ子 ※ 片根 真澄 関根 正恵 齋藤 康昭 宮本 哲也	2	前期	1 単位	必修
分析科学 II	企業での医薬品分析や国立研究所での日本薬局方試験法原案作成の経験を授業へ活用する。	加藤くみ子	加藤くみ子 ※ 片根 真澄 白畑 辰弥 古地 壯光	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
生薬学Ⅱ	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、漢方の基礎と漢方薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 白畑 辰弥 黄 雪丹 緒方 千秋 ※ 坂田 幸治 ※ 高際 真奈未 ※ 室生 真千子 ※ 三澤 心 ※ 水崎 晴奈 ※	2	後期	1 単位	必修
生化学Ⅲ	国内外の研究機関における研究者としての経験を活かし、最先端生命科学を概説している。	奥脇 暢	奥脇 暢 ※	2	後期	1 単位	必修
病態評価学	実臨床の経験も交えて講義を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※ 岡田 信彦 友廣 彩夏 鈴木 順子	2	後期	1 単位	必修
ゲノム医学	国内外の研究機関における研究者としての経験を活かし、最先端生命科学を概説している。	奥脇 暢	奥脇 暢 ※ 齋藤 祥子 飯田 直幸 柴垣 芳夫 三木 剛志 大城 太一 坂本 太郎	2	後期	1 単位	必修
生薬学実習	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、漢方の基礎と漢方薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 白畑 辰弥 黄 雪丹 中森 俊輔 小西 成樹	2	後期	1 単位	必修
生化学実習	国内外の研究機関における研究者としての経験を活かし、最先端生命科学を概説している。	奥脇 暢	奥脇 暢 ※ 柴垣 芳夫 飯田 直幸	2	後期	1 単位	必修
初級太極拳演習（養生法演習）	東洋医学総合研究所における薬剤師及び太極拳指導員（剛柔拳舎）としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、養生法としての太極拳の指導を行う。	小林 義典	小林 義典 ※	2	後期	1 単位	自由
分析科学Ⅲ	企業での医薬品分析や国立研究所での日本薬局方試験法原案作成の経験を授業へ活用する。	加藤くみ子	加藤くみ子 ※ 片根 真澄	3	前期	1 単位	必修
免疫学	研究所での実務経験を踏まえ、ウイルス感染による免疫応答について概説する。	岡田 信彦	岡田 信彦 羽田 健 三木 剛志 北里 英郎 ※ 片桐 晃子	3	前期	1 単位	必修
臨床医学概論Ⅰ	実臨床の経験を踏まえて講義を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※ 友廣 彩夏 高橋 遼 ※ 猪又 孝元 ※ 山下 英之 ※ 熊谷 直樹 ※	3	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
薬物治療学 I	医療現場で得た知識と経験を踏まえて授業を行っている。	厚田幸一郎	厚田幸一郎 ※	3	前期	1 単位	必修
			久保田理恵 ※				
			岩澤真紀子 ※				
			田中 庸一 ※				
			青木 学一 ※				
			安藤 航 ※				
			中野 雅 ※				
小松 敏彰 ※							
構造生命科学	創薬研究の経験を活かし、タンパク質と薬物の相互作用について講義を実施する。	志鷹真由子	志鷹真由子	3	前期	1 単位	選択
			下山 紘充				
			清田 泰臣				
			大田 雅照 ※				
医療ボランティア実習 A	医療現場でのボランティア経験を活かし、事前講義を行い、施設での実習に備える。	松原 肇	松原 肇 ※	3	前期	1 単位	選択
			井上 岳 ※				
			伊藤 千裕 ※				
			井口 智恵 ※				
			浅野 マリ子 ※				
東洋医学概論	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、漢方の基礎と漢方薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※	3	後期	1 単位	必修
			花輪 壽彦 ※				
			永井 隆之				
			小田口 浩 ※				
			鈴木 邦彦 ※				
			星野 卓之 ※				
			川鍋 伊晃 ※				
			森 裕紀子 ※				
			伊藤 直樹				
臨床医学概論 II	実臨床の経験を踏まえて講義を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※	3	後期	1 単位	必修
			友廣 彩夏				
			小林 拓 ※				
			小川 旬子 ※				
			飯ヶ谷 美峰 ※				
			若林 健一郎 ※				
			高橋 恵 ※				
			猪又 孝元 ※				
			菊池 徹洋 ※				
			大作 昌義 ※				
疾病解析学	実務経験により修得した知識と経験を活かし、講義の中でできるだけ具体的な症例を提示しながら疾患と症候、病態や薬物治療を解説していく。	久保田理恵	久保田理恵 ※	3	後期	1 単位	必修
			田中 庸一 ※				
			青木 学一 ※				
			向井 潤一 ※				

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：薬学部 薬学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
薬物治療学Ⅱ	医療現場で得た知識と経験を踏まえて授業を行っている。	平山 武司	平山 武司 ※ 久保田理恵 ※ 篠崎 公一 川野 千尋 ※ 飛田 夕紀 ※ 相澤 政明 ※	3	後期	1 単位	必修
調剤学	病院薬剤部での実務経験を活かし、注射薬を含む調剤、患者情報の活用、医療安全について概説する。	松原 肇	松原 肇 ※ 久保田理恵 ※ 井上 岳 ※ 伊藤 千裕 ※ 井口 智恵 ※ 高野 修平	3	後期	1 単位	必修
地域医療薬学Ⅰ	保険薬剤師として保険薬局での実務経験を活かし、保険調剤、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリケア、セルフメディケーションに関する基本的知識を講義する。	吉山 友二	吉山 友二 ※ 川上 美好 ※ 有海 秀人	3	後期	1 単位	必修
薬学英語Ⅱ	・日本での病院勤務経験を踏まえ、チーム医療の一員としての薬剤師の役割のなかで、情報管理など特に英語が関わる場面を取り上げ、概説する。 ・製薬企業勤務経験を踏まえ、新薬開発事業で必要かつ有用な英語の使い方を概説する。 ・米国でのドラッグストアおよび病院薬剤部勤務経験を踏まえ、実際に業務で使用される英語の資料や文書、また日々多用される英会話を紹介し、講義で活用する。	井原久美子	井原久美子 ※	3	後期	1 単位	選択
医療ボランティア実習B	医療現場でのボランティア経験を活かし、事前講義を行い、施設での実習に備える。	松原 肇	松原 肇 ※ 井上 岳 ※ 伊藤 千裕 ※ 井口 智恵 ※ 浅野 マリ子 ※	3	後期	1 単位	選択
臨床医学概論Ⅲ	実臨床の経験を踏まえて講義を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※ 友廣 彩夏 蓮沼 智子 ※ 杉本 到 ※ 月村 泰規 ※ 山田 悟 ※ 笠井 弘子 ※ 森 毅彦 ※	4	前期	1 単位	必修
医薬品情報学	DI室で汎用する情報源や質疑応答例の紹介を行っている。	岩澤真紀子	岩澤真紀子 ※ 毛利 順一 ※ 坂倉 智子 ※	4	前期	1 単位	必修
薬物治療学Ⅲ	病院薬剤師として経験してきた薬物治療の実際を授業内に盛り込んでいる。	尾鳥 勝也	尾鳥 勝也 ※ 松原 肇 ※ 久保田理恵 ※ 渋谷 清 ※ 小林 昌宏 ※	4	前期	1 単位	必修
地域医療薬学Ⅱ	保険薬剤師として保険薬局での保険調剤、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリケア、セルフメディケーションなどに関する実務経験を活かし、総合的知識を講義する。	吉山 友二	吉山 友二 ※ 川上 美好 ※ 有海 秀人 ※ 園部 堯仁 ※ 山本 信夫 ※	4	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：薬学部 薬学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
医療薬学	医療現場での経験を活かし、チーム医療、医薬品管路、輸液、院内製剤、治験薬への関わりについて概説する。	松原 肇	松原 肇 ※ 厚田幸一郎 ※ 尾鳥 勝也 ※ 平山 武司 ※ 井上 岳 ※ 齋藤 雅俊 ※ 氏原 淳 ※	4	前期	1 単位	必修
病院・薬局実習事前実習	実務経験により修得した知識と技能を活かし、薬剤師業務に直接関連する各実習項目において、実務実習で薬物療法の実践、チーム医療や地域医療に参画できるような実践的指導を行う。	岡田 信彦	岡田 信彦 厚田幸一郎 ※ 伊藤 智夫 尾鳥 勝也 ※ 松原 肇 ※ 吉山 友二 ※ 鈴木 幸男 ※ 平山 武司 ※ 久保田理恵 ※ 篠崎 公一 有田 悦子 奈良輪 知也 小林 昌宏 ※ 毛利 順一 ※ 井上 岳 ※ 渋谷 清 ※ 田中 庸一 ※ 川上 美好 ※ 有海 秀人 ※ 向井 潤一 ※ 岩澤真紀子 ※ 高野 修平 春日井 公美 ※ 堀井 剛史 ※ 東山 倫子 ※ 川野 千尋 ※ 飛田 夕紀 ※ 伊藤 千裕 ※ 井口 智恵 ※ 塩見 めぐみ ※ 青木 学一 ※ 安藤 航 ※ 園部 堯仁 ※ 吉野 裕梨佳 ※ 友廣 彩夏 矢野 康次 松坂 雅子 ※ 山田 路子 ※ 友田 吉則 ※ 竹平 理恵子 ※ 倉持 有香 ※	4	通年	4 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：薬学部 薬学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
看護学	・実務経験で知りえたチーム医療の中での看護師の役割や薬剤師との連携の実際を考慮し、看護学部教員（看護師）による講義を実施する。 ・看護師経験を活かした看護学教育を実施する。	久保田理恵	久保田理恵 ※ 久保 五月 ※ 小山 幸代 ※ 出口 禎子 ※ 眞茅 みゆき ※ 香取 洋子 ※ 伊藤 道子 ※ 中山 栄純 ※ 長尾 式子 ※ 辻 佐恵子 ※ 荒井 有美 ※	4	前期	1 単位	選択
健康食品論	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師及び太極拳指導員（剛柔拳舎）としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、生活習慣の予防における健康食品やサプリメントの活用や養生法の実践について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 今井 浩孝 奈良輪 知也 黄 雪丹	4	前期	1 単位	選択
医療ボランティア実習C	医療現場でのボランティア経験を活かし、事前講義を行い、施設での実習に備える。	松原 肇	松原 肇 ※ 井上 岳 ※ 伊藤 千裕 ※ 井口 智恵 ※ 浅野 マリ子 ※	4	前期	1 単位	選択
薬事行政	行政機関での実務経験を踏まえて薬事行政に関する講義を行っている。	成川 衛	成川 衛 ※ 金子 真之	6	前期	1 単位	選択
薬物治療学Ⅳ	医療現場での経験を活かし、代謝性疾患、悪性腫瘍の病態、薬物療法について概説する。	松原 肇	松原 肇 ※ 厚田幸一郎 ※ 平山 武司 ※ 井上 岳 ※ 田中 庸一 ※ 毛利 順一 ※ 菅原 充広 ※	4	後期	1 単位	必修
地域医療薬学Ⅲ	臨場感を持って総合的に地域保健・医療・福祉を理解することができるようになるために、保険薬剤師として保険調剤、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリケア、セルフメディケーションに関する保険薬局での実務経験に基づく講義を展開する。	吉山 友二	吉山 友二 ※ 有海 秀人 ※ 川上 美好 ※ 園部 堯仁 ※	4	後期	1 単位	必修
臨床病理学	臨床現場での病理標本作成、生検診断、細胞診断の経験を生かし、実際の症例写真の紹介などを通して、病理診断学が医療における治療方針決定のキーとなる重要な分野であることを概説する。	岡田 信彦	岡田 信彦 有海 秀人 友廣 彩夏 ※ 鈴木 順子	6	前期	1 単位	選択
香粧品学	製品企画書の開発スケジュール表の作成、化粧品広告薬事法チェックなどの実習を取り入れている。また、オリジナルテキストの作成や開発秘話を伝える。	田中 美加	田中 美加 ※	5・6	前期	1 単位	選択
医薬品マーケティング論	実務経験により修得した知識と経験を活かし、病院において患者にメリットをもたらす医薬品マーケティングの実際や在り方を解説していく	藤井 秀明	藤井 秀明 伊藤 謙之介 久保田理恵 ※ 小西 一豪 谷口 雅彦 篠崎 智也 石井 真人 李 嬉京	5・6	前期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
生薬・東洋医学精説	企業における研究員としての機能性素材（食品を含む）の開発や、東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、漢方の基礎と応用、漢方薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 白畑 辰弥 花輪 壽彦 ※ 清原 寛章 永井 隆之 日向 須美子 若杉 安希乃 伊藤 剛 ※ 鈴木 邦彦 ※ 遠藤 真理 石毛 達也 ※	5・6	前期	1 単位	選択
臨床栄養学	NSTにおける症例に対する栄養学的介入計画の策定の指導。	今井 浩孝	今井 浩孝 坂本 太郎 今津 嘉宏 ※	6	後期	1 単位	選択
リハビリテーション論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションの基礎的知識及び脳卒中リハビリテーションの現状、臨床で出会うコミュニケーション障害や対処方法の実際、理学療法概念や実際の臨床業務、リハビリテーション論と視覚科学の基礎を学ぶことの意義、作業療法の意義と、臨床における具体的な服薬管理に対する作業療法実践について概説する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 東川 麻里 ※ 上出 直人 ※ 川守田 拓志 ※ 渡辺 愛記 ※	4	後期	1 単位	選択
医療ボランティア実習D	医療現場でのボランティア経験を活かし、事前講義を行い、施設での実習に備える。	松原 肇	松原 肇 ※ 井上 岳 ※ 伊藤 千裕 ※ 井口 智恵 ※ 浅野 マリ子 ※	4	後期	1 単位	選択
実践医療薬学A	学部学生が臨床実務に携わる薬剤師の生涯学習へ積極的に参加することによって、薬剤師の将来を敏感に感じ取り、選ばれる薬剤師像を確立することに役立つ。	吉山 友二	吉山 友二 ※	4	通年	1 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：薬学部 薬学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
病院・薬局実習	医療現場で得た知識と経験を踏まえて講義、実習指導を行っている。	厚田幸一郎	厚田幸一郎 ※	5	通年	20 単位	必修
			松原 肇 ※				
			吉山 友二 ※				
			尾島 勝也 ※				
			篠崎 公一				
			平山 武司 ※				
			小林 昌宏 ※				
			毛利 順一 ※				
			井上 岳 ※				
			渋谷 清 ※				
			川上 美好 ※				
			有海 秀人 ※				
			岩澤真紀子 ※				
			田中 庸一 ※				
			春日井 公美 ※				
			堀井 剛史 ※				
			東山 倫子 ※				
			川野 千尋 ※				
			飛田 夕紀 ※				
			伊藤 千裕 ※				
井口 智恵 ※							
青木 学一 ※							
塩見 めぐみ ※							
安藤 航 ※							
園部 堯仁 ※							
友田 吉則 ※							
医療薬学英語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での病院勤務経験を踏まえ、チーム医療の一員としての薬剤師の役割のなかで、情報管理など特に英語が関わる場面を取り上げ、概説する。 ・製薬企業勤務経験を踏まえ、新薬開発事業で必要かつ有用な英語の使い方を概説する。 ・米国でのドラッグストアおよび病院薬剤部勤務経験を踏まえ、実際に業務で使用される英語の資料や文書、また日々多用される英会話を紹介し、講義で活用する。 	井原久美子	井原久美子 ※	5・6	前期	1 単位	選択
実践医療薬学B	学部学生が臨床実務に携わる薬剤師の生涯学習へ積極的に参加することによって、薬剤師の将来を敏感に感じ取り、選ばれる薬剤師像を確立することに役立つ。	吉山 友二	吉山 友二 ※	5	通年	1 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：薬学部 薬学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
薬物治療学演習Ⅰ	病院薬剤師として経験してきた薬物治療の実際を授業内に盛り込んでいる。	尾鳥 勝也	尾鳥 勝也 ※	6	前期	1 単位	選択
			厚田幸一郎 ※				
			松原 肇 ※				
			吉山 友二 ※				
			平山 武司 ※				
			久保田理恵 ※				
			小林 昌宏 ※				
			毛利 順一 ※				
			井上 岳 ※				
			渋谷 清 ※				
			田中 庸一 ※				
			川上 美好 ※				
			有海 秀人 ※				
			向井 潤一 ※				
			春日井 公美 ※				
			堀井 剛史 ※				
			東山 倫子 ※				
			川野 千尋 ※				
			飛田 夕紀 ※				
			井口 智恵 ※				
伊藤 千裕 ※							
青木 学一 ※							
塩見 めぐみ ※							
安藤 航 ※							
園部 堯仁 ※							
山田 路子 ※							
吉野 裕梨佳 ※							
医療コミュニケーション演習	病院での経験を活かした演習課題を作成し、グループワークにおいて助言および解説を行っている。	有田 悦子	有田 悦子 竹平 理恵子 ※	6	前期	1 単位	選択
薬局管理学	保険薬局での薬局管理経験を有する実務者による講義を通して、保険薬局の役割と業務をより深く理解し、薬局の中堅指導者や薬局開設者として必要とされる人材となるための基本的な知識を概説する。	吉山 友二	吉山 友二 ※ 園部 堯仁 ※ 大島 崇弘 ※ 飯塚 敏美 ※ 三浦 輝久 ※	6	前期	1 単位	選択
漢方調剤薬局実務演習	東洋医学総合研究所における薬剤師としての東洋医学の実践の経験を踏まえて、漢方の基礎と応用、漢方薬の利活用について解説する。	小林 義典	小林 義典 ※ 白畑 辰弥 緒方 千秋 ※ 坂田 幸治 ※ 高際 真奈未 ※ 室生 真千子 ※ 三澤 心 ※	6	前期	1 単位	自由
医用工学概論実習	実臨床の経験を踏まえて実習を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※ 喜来 望 村山 章 ※ 鈴木 順子	6	前期	1 単位	自由
臨床検査学実習	日常業務で実施している生理機能検査及び採血等の経験を学生の実習指導に活かしている。	喜来 望	喜来 望 林 規隆 ※	6	後期	1 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：薬学部 薬学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
臨床生理学実習	実臨床の経験を踏まえて実習を行っている。	鈴木 幸男	鈴木 幸男 ※	6	後期	1 単位	自由
			喜来 望				
			笹岡 悠一				
			鈴木 順子				
実践医療薬学C	学部学生が臨床実務に携わる薬剤師の生涯学習へ積極的に参加することによって、薬剤師の将来を敏感に感じ取り、選ばれる薬剤師像を確立ことに役立つ。	吉山 友二	吉山 友二 ※	6	通年	1 単位	自由
合計						85 単位	